

まつもと じゅん

# 松本純

中区・磯子区・金沢区  
まちかど  
政治瓦版



平成15年9月1日号  
発行 かながわ1区支部  
編集長 平木 茂

# No. 6

問合せ●横浜市中区野毛町2-65 電話045-241-7800 FAX045-253-0585 ホームページ [www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp)

## 「5年」で治安の危機的現状を脱する！ 自民党の「緊急提言」を緊急報告します

日本の治安が大きな危機にさらされていることは、瓦版の第3号で取り上げましたが、自民党はこのほど、「治安強化に関する緊急提言」を首相官邸に提出しました。

達成目標を明確にしたのは、第5号で触れたマニフェストの手法ですが、これは「選挙まで待てない。できるものは来年度の予算で」という異例で、文字通りの緊急提言です。

緊急提言はまず、「5年で治安の危機的現状を脱する」「25万人ともいわれる不法滞在者を5年で半減させる」という2つの柱を掲げています。そのために、これを実現させる

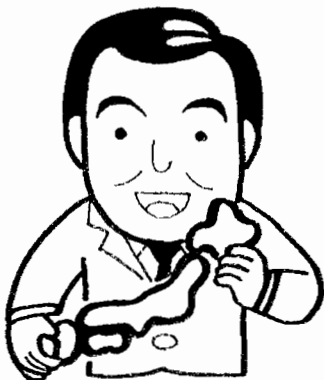
ための治安関係の人員と施設は、公務員削減計画などとは別枠にして、緊急増員、緊急整備すべきであると述べています。「緊急」の連発で恐縮ですが、まさに状況は、それほど切迫しており、それだけに提言は悲痛な調子を帯びているのです。



増員を求めているのは、警察官、入国管理職員、税関職員、刑務所職員、検察官、海上保安庁職員、麻薬取締官です。とくに警察官は、諸外国の警察官1人の負担人口が300~400人であるのに対して、日本では533人である現状から、「まず負担人口を限りなく500人に近づける」ことを求めています。一方、施設関係では現在、都市部の警察留置場や全国の刑務所が過剰収容状態となっていることから、その整備などを要求しています。

提言は、警察OBや元検事などの議員24人で構成する自民党治安強化小委員会が、わずか2カ月でまとめた、と聞いています。私は、党の先輩諸氏の懸命な取組みに敬意を表します。この提言について、初代内閣安全保障室長の佐々淳行さんは新聞で、「安全な国づくりこそ最大の福祉。

まず8月末の来年度予算概算要求では財務省、必要な予算をつけるべし」と書いておられますが、私もまったく同感です。



皆さんには、この提言の行方を注意深く見守っていただきたいと思います。私もこのことを一人でも多くの方に知っていただき、この要求が国民全体の声になって政府を動かすよう全力を尽くす考えです。

※緊急提言は、私のホームページ ([www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp)) に全文を掲載しています。

ご意見、ご感想をお寄せください。▶「みんなの声」係 [matsumoto@jun.or.jp](mailto:matsumoto@jun.or.jp)



## ポスターに込めた「松本純6つの顔」④

このポスターには、私の顔のほかに6枚の写真が印刷されています。実はそのひとつひとつに、私の思いを込めました。第4回目は、右側の真ん中、内閣官房副長官、安倍晋三さんとの2ショットです。

## 拉致事件に取り組む安倍晋三さん そして岸首相の思い出

安倍晋三さんといえば、今、北朝鮮による日本人拉致事件の解決に毅然とした態度で取り組んでおられ、「国民が期待する政治家ナンバー1」といっても過言ではないでしょう。

晋三さんのことを語るとき、私は45年前のささやかな出来事を思い出します。

総選挙が行われた昭和33年5月、8歳の私は桜木町駅前に選挙応援に来た岸信介首相(当時)を、産婆をしていたツネおばあちゃんと一緒に見に行きました。そして、持っていた500円の豆カメラで岸さんの写真を撮った私はそれを、「僕は一生懸命勉強しています。岸さんもお国のためにがんばってください」という手紙とともに岸さんに送ったのです。

すると、どうでしょう！ 岸さんから、「明るく清く正しく強く」と書いた色紙が届いたのです。この言葉は今も私の一番好きな言葉ですが、その岸さんのお孫さんが晋三さんであることは、皆さんもご存じでしょう。何かの因縁を感じないわけにはいきません。

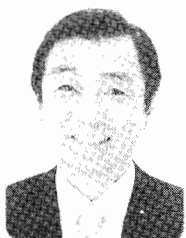
さて、晋三さんとは、晋三さんが2期生で自民党社会部会長、私が1期生で副部会長という関係で厚生関係の仕事と一緒にしました。部会はいつも議論百出。まとめることの難しい問題を、晋三さんはいつも持ち前の粘り強さで解決に向けてリードしていました。その頃は一緒に飲みに行っても難しい議論に熱中していました。

晋三さんが首相官邸に入ってから、何度か官邸に伺っては、拉致事件などについて語り合いました。私は、拉致事件の全面解決をめざすブルーリボン運動を継続して展開していますが、なんといっても拉致事件、そして核をめぐる北朝鮮問題を解決しなければなりません。

**がんばれ、晋三さん！ 私も晋三さんを応援し、ともに行動します。**



### まつもと じゅん プロフィール



昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ。本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師。製薬会社を経て、(有)松本薬局に入社。現在は代表取締役。本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長として、街づくりや地域活動に取り組む。平成2年、横浜市議中区補欠選で初当選、3期務める。平成8年、衆議院総選挙で神奈川1区当選。専門を生かして医療・福祉・介護・年金などに全力投球。平成12年の総選挙で次点落選。現在は自民党衆議院神奈川1区支部長として国政復帰奮闘中。